

団体名			事業名	交付予定額 (千円)	融資予定額 (千円)	金融機関	事業背景	事業概要	地域への貢献
1	滋賀県	甲賀市	FUFUNDO畜産改革システムによる農業活性化事業	25,000 国費：12,500 地方費：12,500	25,000	関西みらい銀行	<ul style="list-style-type: none"> ●地域農業は、畜産農業と有機農業の協力が重要視されているが、若者の関心度は低く、ふるさとの田畑が放置されるところが増え、衰退していく状況にある。 ●畜産農業は排せつ物の処理が不可欠で、3Kの労働環境から担い手が不足し、農業全般に将来性を見込めないため、後継者不足は深刻な問題である。 ●日本の食文化を維持するために、魅力ある連携事業を形にした地域独自の農商工連携事業の構築が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ●畜産業の排泄物を資源に、世界初の新技術で有機農業に役立つ肥料に加工し、地元外食産業とコラボレーションできる連携農業を実現する。 ●働き方改革となる機能的ミニ牧場を作り、作業時間の短縮（1/3）や堆肥排出量低減（1/10）など、3Kを解消できるシステム構築の実現する。 ●畜産だけでなく、食に関連する事業者へ、30倍のスピードで発酵できるシステムを示し、有機廃棄物を減らす社会を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●若者に対し、アニマルウェルフェアを求心力とした農業へ関心度を高める。 ●人材不足を解消するために畜産業の作業内容を一変する新技術で、3Kを解消する働き方改革を実現する。 ●新技術による発酵スピードの向上で、ごみの排出削減及びCO2の削減を図る。
2	兵庫県	香美町	山陰海岸国立公園を活用し未来へ向けた飲食・宿泊事業 ※2か年事業	50,000、うちR7:35,000 国費：37,500、うちR7:26,250 地方費：12,500、うちR7:8,750	330,000	但馬銀行 なごさ信用漁業協同組合連合会	<ul style="list-style-type: none"> ●本町の観光業は、名産である松葉ガニという観光資源に支えられているが、食材費等の単価高騰や冬季中心の観光現状に不安を抱いた。 ●少子高齢化による後継者、労働者不足から事業縮小や廃業等も増加しつつある当地においては新たな観光拠点を創出しなければますます衰退の一途をたどると感じた。 ●山陰海岸国立公園の美しい豊かな自然に囲まれた場所を、活かした飲食・宿泊施設の創造が地域の起爆剤になると考えました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●国立公園内に、地域の観光需要トップの食という強みを生かした地産地消のお料理、優れた自然景観の中で、自然保護や共存をしながら、地域の歴史文化体験を提供する。 ●インバウンド対応、観光DXによる内部オペレーションの効率化等を実施した、飲食・宿泊施設を創造し、観光産業の新しい基盤となるビジネスモデルを創造する。 ●香美町の観光消費の増加、交流人口の増加に寄与する経済波及効果の大きい事業だと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●夏の誘客の弱い本町において山陰海岸国立公園を活用した体験型オールシーズン観光。 ●自然と共存した空間で観拠点としてインバウンド対応、長期滞在等の本町の目指す新しい観光事業の取組。 ●観光産業が成長することで、水産・加工品の高付加価値化が可能となり、基幹産業の改善や雇用拡大等地域の活性化につながることで町全体の成長に貢献できる。
3	広島県	福山市	福山市鞆町の古民家を活用した地域の拠点形成及び地域活性化事業	15,000 国費：7,500 地方費：7,500	15,000	備後信用金庫 ふるさと融資	<ul style="list-style-type: none"> ●人口減少や少子高齢化に伴い、今まであったスーパーや小売店舗が次々に閉鎖し、鞆町で生活していく事が困難になりつつある。 ●鞆の浦のすばらしさは、作られた観光地ではなく、昔ながらの町並みの中に伝統文化がいぎづいた生活が残っている事であり、生活と観光の両立を進めていく事が必要。 ●地域の祭など伝統行事への参加者の減少や空き家が増加しており、地域の活力及び魅力の低下の要因となっている。若者の新たな活力を吹き込む仕組みをつくることで、鞆町を、若者が集まり活躍する、活気ある地域へと再生したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●世代を超えて地域に住む方々が集う場所、観光客の方々と地域の方々が交流する場所として、「まちのロビー」というコンセプトでの拠点づくりを行う。 ●福山市を中心とした備後地域のモノづくりの素晴らしさを若者に伝えるとともに、若者を対象としたチャレンジキッチンの設置等により関係人口を増やし、移住を促進する。 ●高齢者の買い物支援やシェアオフィス、こどもの自習室などの運営により、世代を超えた人々が日常的に足を運ぶ仕掛けづくりを行い、顔の見える交流を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●住み続けたいと思えるまちづくりを進めるとともに、世代間交流を促進する中で伝統文化を継承していく。 ●観光客と地域の方々の繋がり、関係づくりが促進され、地域の活力及び魅力向上につながる。 ●若者がチャレンジできる場を提供し、外から来る若者と地域の若者の交流による相乗効果により地域が活気づく。
4	香川県	小豆島町	町内最後の酒屋さんの移住促進と地域産品の販売拠点整備のプロジェクト	20,000 国費：13,333 地方費：6,667	20,000	百十四銀行	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症を機に小豆島には年間約500人前後が移住。しかし移住前の情報不足による移住後の生活とのミスマッチで、4割が転出し、定着率は6割程度にとどまっている。 ●小豆島島内にはそうめん、オリーブ、ごま油、佃煮などの食品製造事業者が多数存在。また移住者が酒類等の付加価値の高い食品を製造している。しかし、各事業者は自社の販売施設がない、交通不便な場所にあるなどの理由で、小豆島島内の付加価値の高い商品の販売ができてない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●町内の民間事業者として初めて移住相談ができる窓口を備えた商業施設(新店舗)を整備する。 ●商圏内の不動産、求人、事業者の情報に精通する店長が移住者の相談対応にあたる。 ●観光客が個別に訪問しにくい島内の食品事業者の製品(約150種類)を一堂にそろえて観光客の利便性を向上。免税と外貨両替で消費拡大を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●移住者の増加による人口増加。 ●移住者に対して地域情報を提供しミスマッチを防ぐことで移住者の定着を促進。 ●小豆島の地域産品の消費拡大、知名度向上 ●免税対応や外貨両替による観光客の利便性向上。 ●外貨両替による周辺の飲食店、宿泊業者、小売店の消費拡大。 ●商店の事業継続によるライフラインの維持。

60,000

390,000